

2019年

6月15日(土)

開場 14:00～ 開演 14:30～

会場

ヤホール

新潟県西蒲原郡弥彦村弥彦974-4

料金

最前列指定席 4,000円

その他自由席 3,500円

お問い合わせ

025-244-7485(柴沢)

(受付時間 9:00～20:00)

主催/こんぶりしばしば

協力/一般社団法人 弥彦観光協会

弥彦温泉観光旅館組合

藤本吉利・藤本容子

唄と太鼓の二人行脚

響き合う魂の息吹き



ときに密やかに ときに吠えるが如く
鼓舞してやまない 絆の証し

出演者プロフィール



藤本 吉利 Yoshikazu Fujimoto

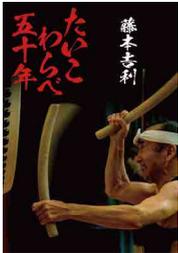
1972年「佐渡の國鬼太鼓座」に入座、1981年「鼓童」創設メンバー。これまで数々の舞台に立ち、「大太鼓」や「屋台囃子」といった舞台のクライマックスを飾った鼓童の最年長。1998年に「岩崎鬼剣舞」より習得の証である「印可之証」を受け、「岩崎伝佐渡鬼剣舞」の庭元を務める。近年はゲスト出演や研修生の指導、WS講師、藤本容子との唄と太鼓の「二人行脚」など、幅広い活動を行っている。「鼓童」の名前の由来同様、永遠に太鼓の「童」でありたいと願う太鼓大好き人間。2012年、鼓童名誉団員に選定。2012年度文化庁文化交流使として中国を訪問。2018年、芸歴50周年を迎えた。



藤本 容子 Yoko Fujimoto

1976年「佐渡の國鬼太鼓座」に入座、1981年「鼓童」創設メンバー。3年間舞台を務めた後、機関誌編集、研修生指導に携わる。1989年より舞台活動を再開。鼓童の舞台ほかソロ活動、「花結」など小編集活動、藤本吉利との「二人行脚」の活動開始。1998年唄のWS「ヴォイス・サークル」を立ち上げる。2012年、鼓童名誉団員に選定。2012年より、自らのプロデュースによるソロ活動を開始。2017年、京都府綾部の太鼓有志と共に、綾部伝唱歌遊団「とわ」発足。

書籍紹介



藤本 吉利
 太鼓人生50年記念本

「たいこわらべ五十年」

今なお現役で活動し、太鼓芸能集団「鼓童」の精神的支柱ともなっている藤本吉利の、和太鼓への飽くなき思いと人柄の滲む、文章と写真の数々をお楽しみください。

「内容」

大太鼓／言葉／(鼎談)太鼓わらべ50年を語る／手書き楽譜・吉利作曲「雷神(なるかみ)」など／坂東玉三郎氏をはじめとした寄稿文など／写真

ディスコグラフィ



待望の藤本容子ソロアルバム
morisa komorisa

日本の各地で歌われてきた12の子守唄。そこに秘められた深い想いを、懐かしくそして新しい音楽の世界へと解き放ちました。愛おしく、時に切なさ胸を打つ数々の詩が、限りなく優しく透明に響き渡ります。日本の歌でありながら、言葉や地域を飛び越え世界中を包み込む、生命の絆を感じてください。

— 収録曲 —

ねんねころいち(奈良)／守子(新潟)／守子守(愛知)／津縣の子守唄(青森)／ホラねろねろ(福岡)／この子の可愛さ(静岡)／泣かないよ(奄美)／ねんねこんぼうよ(奄美)／ねんにゃこコロチャコ(秋田)／オワイヤレ(山形)／とこえに(作詞作曲:藤本容子、編曲:Derek Nakamoto)／竹田の子守唄(京都)／ようかい(種子島)



藤本容子
やまずめぐも ～よろこび悲しみとけるまに～

止まず巡る生命と出会いの神秘に思いを馳せて、これまで大切にきた唄達の中から、特選した7曲です。

— 収録曲 —

風車(明治時代の幼稚園唱歌)／オロピネ(アリス歌謡)／花のわらべ唄～佐渡のわらべ唄～(詩:本間正次、曲:藤本容子)／マルティーナの子守唄(曲:イタリア映画「やがて来る者へ」より、詩:藤本容子)／星とタンポポ(詩:金子みすゞ、曲:藤本容子)／実り唄(台湾アミ族収穫の唄)／ヒネトブ(ユダヤ聖歌/日本語詩:藤本容子)



唄と太鼓の「二人行脚」

日時 **2019年6月15日(土)** 開場 14:00～
 開演 14:30～

料金 最前列指定席 4,000円 / その他自由席 3,500円

お問い合わせ
 チケット申込 **025-244-7485**(柴沢)
 (受付時間 9:00～20:00)

会場 **ヤホール** 新潟県西蒲原郡弥彦村弥彦974-4
 弥彦駅から徒歩3分 弥彦観光案内所となり 駐車場あり

主催 / こんぷりしばば
 協力 / 一般社団法人 弥彦観光協会 弥彦温泉観光旅館組合

